

「深い学び」をどのように捉えるか

～「理科の見方・考え方」を通して養うべき理科の「資質・能力」を踏まえて～

これまでの学習指導要領では、「科学的な見方・考え方」が理科で養う目標となっていました。しかし、新しい学習指導要領では、「理科の見方・考え方」を働かせて、理科の「資質・能力」を養うことに変更されています。本研修会では、「理科の見方・考え方」や理科で養うべき「資質・能力」を紐解きながら、主体的で対話的な「深い学び」とは何かを考えることを通し、これからの理科教育への理解と意欲の向上を図ります。



■ 第 I 部：講演 (13:20 ~ 15:00)

新学習指導要領を どのように捉えるか

山口県教育庁義務教育課
指導主事 **徳光 和也**

理科における 「深い学び」を考える

広島大学大学院教育学研究科
准教授 **松浦 拓也**

■ 第 II 部：実践報告 (15:20 ~ 16:20)

生きた知識が身に付く 小学校理科学習モデルの構築

～問い直しによって、
気付いて学ぶ活動と学習した内容を結ぶ提案～

やまぐち総合教育支援センター 長期研修教員
下松市立花岡小学校・教諭 **濱田 篤司**

生きた知識が身に付く 中学校理科学習モデルの構築

～使ってみることで、
気付いて学ぶ活動でつかんだ知識の質を高める提案～

やまぐち総合教育支援センター 長期研修教員
長門市立深川中学校・教諭 **高村 大輔**

■ 参加申込 (問い合わせ)：

電子メールにて送信：
rika-gp-ed@ml.cc.yamaguchi-u.ac.jp
件名：理科ちゃぶ研修会申し込み
本文：氏名・所属・連絡先
締切：12月21日(木) (当日参加・歓迎)

■ 日時：

平成 29 年
12 月 23 日
(土)
13:15 ~ 16:30

■ 場所・参加費・対象：

山口大学教育学部
21 番教室
無料
教員志望学生
学校教員 など